



特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会
東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3 階
TEL: 03-3834-6902
Email: info@ajf.gr.jp



「2020 年冬の募金」

さらなる活動のために、ご協力をお願いします

平素より、アフリカ日本協議会 (AJF) の活動に深いご理解およびご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

2020 年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、私たちの日常が大きく変化した 1 年となりました。アフリカと日本を行き来したり、たくさんの人が集まり顔を合わせて話をしたりすることが難しくなりました。新型コロナウイルスの流行に対応した新たな支援プロジェクトやビジネスが始まる一方で、生活上のさまざまな困難を抱えるようになった方も大勢います。ワクチン開発が進んでいますが、それがすべての人びとに適切に行き届くのかを危惧する声も上がっています。

こうした状況下においても、AJF は、これまで培ってきた知見と国際的なネットワークを駆使し、例年以上に活発に活動を行ってきました。(活動の報告は裏面をご覧ください)

新型コロナウイルス感染症の流行の影響や社会の変化は、アフリカ・日本双方で、2021 年に入りさらに加速することが予想されます。AJF はさまざまな課題や考えるべき物事を提起し、発信し、必要に応じて改善を求め、また多くの人びとと豊かなつながりを広げていきます。

他方で、活動資金の確保はさらに難しくなっています。とりわけ AJF の活動は、数値化した「成果」を示しにくいこともあり、助成金の対象となりにくいのが現状です。みなさまのご寄付が、これらの活動を支える根幹となります。AJF の活動のためのご寄付「冬の募金」へのご協力を、よろしくご協力申し上げます。

共同代表 津山直子、玉井隆

ご支援の方法

■クレジットカードによる寄付や会費は、以下のサイトをご利用ください。

<https://kessai.canpan.info/org/ajf>

■クレジットカード以外のお振込み

1) 郵便振替口座

00120-3-573276 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

2) 銀行口座

三菱 UFJ 銀行上野支店 (普) 5305887

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

■アマゾンでのお買い物の際に以下のリンクからログインしてご購入いただくと、金額の約 3% (商品によって異なります) が AJF に寄付されます。

https://www.amazon.co.jp/?ie=UTF8&link_code=hom&tag=ryospace03-22

■古本などご家庭に眠る不要品による募金は以下で受け付けています。

お申込みの際「寄付先・団体コースの指定」で「アフリカ日本協議会」とご入力ください。

<https://hondana.biz/second-hand-books-selling-for-charity/charityhtml/#AJF>



※金融機関を通じてご寄付いただいた場合、経費削減のため領収書の発行・発送を省略させていただいておりますが、領収書が必要な方は事務局 (☎03-3834-6902/メール: info@ajf.gr.jp) までお知らせください。

※募金は寄付控除の対象にはなりません。

2020年の活動成果の一部を紹介します。2021年、より充実した活動をめざします。

例1 アフリカにルーツを持つ子ども・若者が、仲間とつながる機会を広げました

アフリカにルーツを持つ子ども・若者が集う、「アフリカンキッズクラブ」「アフリカンユースミートアップ」では、オンラインでのイベントを通して、国内外につながりを広げ、思いや経験を共有することができました。

また、Black Lives Matter (BLM) 運動をはじめ、「差別」を巡る問題が議論される中、アフリカにルーツを持ち、日本で育った若者たちが、当事者として日本での人種差別やマイクロアグレッション(偏見による言動・無意識の差別)について発言し、理解や共感を広げました。

- ◎ アフリカンルーツの子ども・若者が自由に安心して話せるトークセッションや仲間と支え合う「ピアサポート」としてのケアセッションなど、継続的に開催しました。
- ◎ アフロビーツのダンスクラスを毎月行い、一緒に体を動かし、自分のルーツの国を紹介しあうなどしました。また、ケニアの子どもたちとオンラインでつないで交流したり、ママ同士で悩みや情報を分かち合う会なども実施しました。

これらの活動に参加して、仲間ができた喜びや、自分に自信が持てるようになったという声が寄せられています。また、NHK「おはよう日本」の特集に出演し、当事者の若者の声やマイクロアグレッションについて広く知ってもらうことができました。



▲アフリカンユースミートアップのメンバーが制作した創立1周年の感謝イラスト

例2 新型コロナウイルス感染症をめぐる危機に対して、アフリカや世界の市民社会とグローバルな連帯を促進・強化しました

国際保健部門では、これまで HIV/AIDS などの感染症や、国際保健の政策に取り組んできた実績を踏まえて、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) をめぐる危機に際して、アフリカや世界の市民社会との連帯を促進・強化してきました。COVID-19 の危機を、国際連帯に基づくグローバルな取り組みで乗り越えていくために、特に政策提言、情報発信に力を入れています。

- ◎ グローバルな市民社会の連帯を構築するために、アフリカを含む各国の市民社会と連携し、サウジアラビア G20 サミットに向けた政策提言にリーダーシップを発揮しました。
- ◎ COVID-19 に関する政府の国際協力政策に市民の声を反映するため、国際保健に関する NGO のネットワーク「GII/IDI 懇談会」と政府の定期的政策対話を4月から2ヵ月ごとに開催。
- ◎ メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」発行や、AJF ウェブサイトでの情報発信など、COVID-19 に関わる国際協調や、医薬品などの途上国での平等なアクセスの促進に関わる情報を紹介しています。



▲AJF で制作した冊子『真の市民社会の参画をめざすグローバルファンド「コミュニティ・人権・ジェンダー戦略イニシアティブ」』

その他、世界の食料安全保障やアフリカの時事に関するセミナー等の開催、アフリカの現状・課題や人々の声を伝える情報発信やネットワークの構築などを行っています。